

教組米沢

Newsletter

米沢市教職員組合

〒992-0039 米沢市門東町 2-3-27
米沢教育と文化の会館
TEL (0238) 23-1542
FAX (0238) 23-1560
HP : <https://yonezawa-tu.jp/>
Mail : ytuandztu@lemon.plala.or.jp

2023年2月27日 第29号

全教が「勤務実態調査 2022」集計結果を発表

全教は1月19日、昨年10月に行った全国勤務実態調査の結果を発表しました。調査は全国約3400人に依頼し、10月下旬の1週間の勤務内容について30分ごとに詳細に記録していただいたもので、米沢市教組からも5名の先生方に参加していただきました。ご協力いただいた先生方、大変ありがとうございました。



全国から返送された調査票

時間外勤務は過労死ラインを超える平均86時間24分

校内での時間外勤務と「持ち帰り」を含めた時間外勤務の合計は、全職種の平均で86時間24分と、厚生労働省の「過労死ライン」を超えています。特に、校内での時間外勤務の時間は、10年前の調査と比べて2時間弱も増えています。(教職調整額は、月8時間の残業時間分しかありません。86時間分の正当な時間外手当は、月額給与30万円の人は約16万円になります)

◆ 時間外勤務と持ち帰り勤務時間の平均（全職種）

	校内での時間外勤務	持ち帰り時間	時間外勤務の合計
平日（1日あたり）	2時間51分	24分	3時間15分
土曜日（1日あたり）	2時間30分	41分	3時間11分
日曜日（1日あたり）	1時間10分	1時間00分	2時間10分
4週間の合計	71時間40分	14時間44分	86時間24分

6割以上が上限指針(月45時間)を超過

約6割が「時間外勤務月45時間」の「上限指針」を超えていると回答しています。今回の調査の結果をもとに1か月間の時間外勤務時間を推定すると、月45時間以内は17.8%にすぎません。

◆ 「上限指針」を超えた月がありますか

時間外勤務の超過	割合
超えた月はない	31.2%
超えた月がある	33.1%
毎月超えている	26.1%
よくわからない	8.4%
無回答	1.1%
合計	100.0%

◆ 調査結果による校内での時間外勤務の分布

時間外勤務/月	割合
45時間未満	17.8%
45時間以上80時間未満	29.3%
80時間以上100時間未満	16.9%
100時間以上	36.1%
合計	100.0%

「いつも睡眠不足」の実態が明らかに

平日の睡眠時間の平均は6時間22分、分布を見ると46.3%が6時間未満です。「睡眠によって疲れがどれくらい解消しているか」という質問には、54.8%が「心身の疲れが翌日に残ることが時々ある」、31.5%が「睡眠によってもその日の疲れは解消せず、溜まっていく感じがする」と回答しています。

◆ 平日の平均的な睡眠時間の分布

睡眠時間	割合
4時間未満	1.1%
4時間～5時間未満	9.5%
5時間～6時間未満	35.7%
6時間～7時間未満	37.0%
7時間～8時間未満	13.9%
8時間以上	1.8%
無回答	1.0%
合計	100.0%

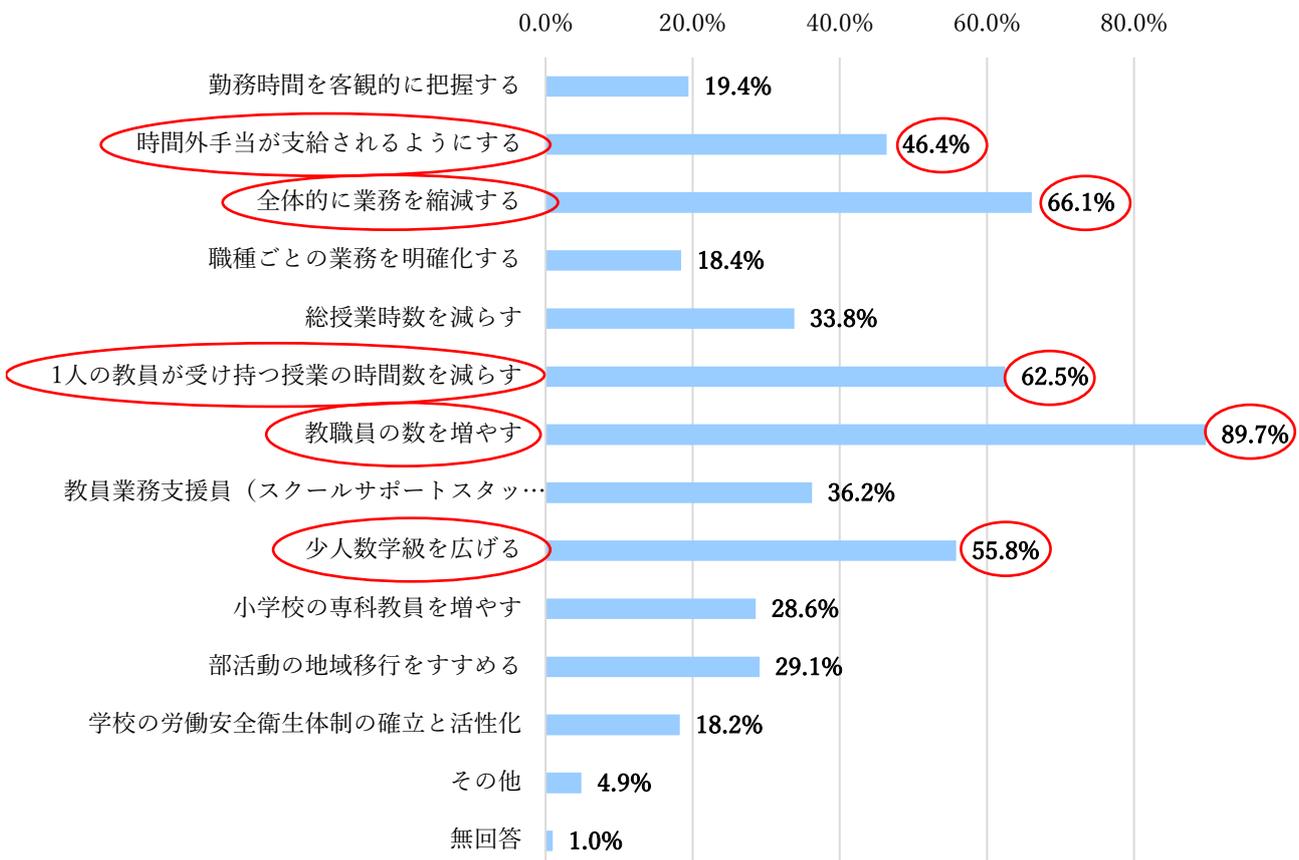
◆ 取得できた休憩時間の平均（平日）

全体平均（平日）	11.4分
幼稚園	8.4分
小学校	4.8分
中学校	6.9分
高校	26.3分
特別支援学校	13.4分

やっぱり教職員を増やさない!

「長時間労働を解消するために何が必要か」の問いに89.7%が「教職員の数を増やす」と回答しています。その次は「全体的に業務を縮減する」「受け持つ授業の時間数を減らす」と続いています。長時間労働の問題を解決するには、教職員の数を増やして一人あたりの業務量を減らすことが不可欠です。

◆ 長時間過密労働を解消するために、何が必要だと思いますか（あてはまるものすべて）



時間外勤務を減らせ！～米沢市教委と交渉

市教組は2月17日、深刻な教職員不足、時間外勤務の解消、教員免許更新制廃止後の新たな研修負担、定年延長などの問題について米沢市教育委員会と交渉を行いました。市教委からは教育長、教育指導部長が出席しました。市教委の主な回答は以下の通りです。

1 教員免許更新制廃止後の新たな研修制度について

市教委「文科省からの通知が8月にあったが、その後は具体的な情報がまだない。より幅を広げた研修が主体的に選択できるようになると考えている」

市教委「市として新たな研修を立ち上げることは、今のところ考えていない。教育研究発表会と教育講演会を組み合わせ、今後は隔年で行うことを予定している」

市教委「研修の復命は、一日研修は口頭で、泊を伴うものや法定研修は書面で行うようにしている」

★ 市教組は、今後新たな研修負担にならないよう特に要求しました。

2 定年延長・短時間勤務について

市教委「小学校は、短時間勤務のできる仕事を増やすことはなかなか難しい。今後、小学校で新卒の初任者配置校に支援員を配置することになるので、これは短時間の方にお願ひできることになると思う」

市教委「専科教員への活用は、英語の要望が多いが条件が厳しく配置が難しい」

市教委「定年後の雇用と生活は守らなければならない。しかし学校の仕事は本当に大変だ。学級数が複数の学校では教科担任制ができるよう工夫している学校もある」

市教委「まず県に定数をきちんと充当してもらうことが必要だ」

★ 市教組は、定年延長後は学年主任や校務分掌の部長をしないことを原則にするなど、具体的な負担軽減を要求しました。

3 教職員不足について

市教委「現在2校でまだ代替者が見つからない。すでに配置された学校もフルではないところもある。なんとか工夫をして配置に努力している」

市教委「行き当たりばったりで人探しをする状況には限界がある。大学には地域の教育、人材要請に責任を持ってもらいたいと願っている」

4 多忙解消について

市教委「コロナが落ち着いても以前の形に全て戻すのではなく、オンラインの継続も含め新たな形での精選をしていきたい。委嘱研究について、七中は来年度、三中が再来年度発表という予定だが、それ以降は小中合わせて参観できるような新たな形を検討している」

市教委「部活動や記録会の改善について、子どもたちにとって必要なスポーツ経験は何なのかという観点で新たなスポーツ振興計画を策定していく。記録会ありきではない姿を検討したい」

市教委「外部指導者の委嘱については手続きが難しく進まない面もある。小中の先生方で連携したり、退職された先生に短時間でも来ていただいて指導いただくことも考えたい」

市教委「ガイダンス教室のスタッフを増やして、特別支援に関わる相談ができる体制を整えたい」

“岸田大軍拡” ノー！ 米沢9条の会が連日街宣

軍事費を2倍にし、攻められる前に敵の基地を先制攻撃すると
して、トマホークミサイルを500発も爆買いする岸田大軍拡予
算。連日国会では論戦が行われていますが、テレビをつけても相
変わらずお笑い芸人のバカ騒ぎや WBC に向けた大谷選手など
の話題ばかりです。

市教組も加盟する“米沢9条の会”（代表委員・九里廣志さんな
ど5名）では、このような状況への危機感から、2～3月に市内
で街頭宣伝を行うことを決定し、連日街宣カーで市内を巡回して
います。街宣は以下のような内容です。

市民のみなさん。わたしたちは「憲法9条を護る
米沢市民の会」です。岸田内閣は、国会に一度も提
案しないまま、日本が攻められていなくても先に攻
撃できるとする「敵基地攻撃能力」を持つこと、今
後5年間で軍事費を2倍にすることを決めました。
日本は2度と戦争はしないことを、憲法で世界に宣
言している国のはずです。



岸田内閣はロシアによるウクライナ侵攻
や北朝鮮のミサイル発射を口実にしていま
す。。国と国との問題は、あくまで外交で解決
すべきです。憲法9条を持つ日本は、軍事力
を強くするのではなく、平和主義による外交
の努力を貫くべきではないでしょうか。

物価高が私たちの生活を苦しめていま
す。賃金も上がらず、将来への不安も高ま
っています。しかし岸田内閣は、アメリカ
から1発2億円もするトマホークミサイル
を、なんと500発も買うと勝手にアメリ
カと約束しました。いったいどこに打ち込
むつもりなのでしょう。市民のみなさん。
軍事費の増大をやめさせ、大切な税金を国
民の生活のために使わせましょう。

軍事費2倍化をやめれば実現 できる子育て・教育の無償化	
大学・大学院の学費 ^{※1}	3兆3000億円
専門学校の学費	3500億円
公立高校の学費	629億円
私立高校の学費 ^{※1}	6500億円
高校の教科書等教材費	660億円
小中学校の給食費	4451億円
小学校の教材費	1200億円
中学校の教材費	750億円
0～2歳の幼児教育 ^{※2}	4889億円
3～5歳の給食費	884億円
全保育園・幼稚園に 保育士2人を配置	3366億円
合計	5兆9829億円

※1 入学金、授業料、施設整備費など
の総額
※2 現行制度で無償化対象外の住民
税課税世帯を対象にした場合

しんぶん赤旗日曜版（2月12日号）

車の乗り換え、お子さんが車を運転するなどのときは、
安心な「全教自動車保険」へ（車検証ですぐ見積もり、団体割引もあります）
 （見積もり依頼は（有）教育文化センター・井上さんまで TEL 023-608-3520）